

令和2年度

事業報告書・収支決算書

公益社団法人福井県シルバー人材センター連合



# 令和2年度 事業報告

## I 概要

令和2年度の県内シルバー人材センター事業の実績は、会員数が3月末現在で8,073人となり、前年同月より178人減少し、11年連続の減少(▲2.2%)となった。新型コロナウイルス感染症防止対策も影響し、減少率は前年度より1.6ポイント拡大した。

一方、契約額は、派遣契約額が484,810千円と9年連続で増加(16.6%)したものの、請負・委任契約額が3,173,584千円と6年連続で減少(▲11.6%)したことから、全体的には3,658,394千円となり8.7%の減少となった。

事業推進については、新型コロナウイルス感染症が国内はもとより全世界に広がるという、これまでに経験したことのない厳しい中で、国・県・市町等の指導と協力を得ながら、各シルバー人材センターと連携を強化し、次の重点事項を積極的に事業の展開を図った。

- 1 会員拡大対策等の推進
- 2 「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を活用した就業機会拡大の推進
- 3 「公益社団法人」としての事業推進とコンプライアンスの徹底
- 4 重篤事故ゼロを目指した「事故防止対策」と「適正就業ガイドライン」に沿った事業の推進
- 5 「高齢者活躍人材確保育成事業」の積極的な推進

区 分		令和2年度	令和元年度	増減率 (%)
会員数 (人)		8,073	8,251	▲ 2.2
受注件数 (件)	合 計	38,087	41,910	▲ 9.1
	請負分野	37,572	41,413	▲ 9.3
	派遣分野	515	497	3.6
契約金額 (千円)	合 計	3,658,394	4,005,243	▲ 8.7
	請負分野	3,173,584	3,589,358	▲11.6
	派遣分野	484,810	415,885	16.6
就業延人員 (人)	合 計	808,090	885,240	▲ 8.7
	請負分野	711,719	799,130	▲10.9
	派遣分野	96,371	86,110	11.9

※ 「契約金額」の額は、百円単位四捨五入の額を表す。

## Ⅱ シルバー人材センター事業

### 1 会員の確保対策

#### (1) イメージアップに向けた効果的な普及啓発活動の実施

##### ① 普及啓発促進月間（10月）の取組み

###### ア 「ふくい元気・シルバーフェスタ 2020 イン大野」

令和2年「ふくい元気・シルバーフェスタ」の開催につきましては、大野市での開催（10月10日）を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により「3密」回避が困難であるとの苦渋の判断から7月15日に「中止」を決定しました。

###### (ア) 会議開催 「シルバーフェスタ実行委員会」の開催

第1回 令和2年 7月15日

第2回 令和2年12月22日

###### イ 「シルバーの日（10月17日）」の普及啓発活動の実施

連合及び13センターでボランティア活動の実施

「シルバーの日」を中心に656人が参加して実施

##### ② 年間を通じた普及啓発活動

###### ア 機関誌「シルバー連合ふくい第58号」の発行

連合や各シルバー人材センターが取り組んでいる様々な事業活動を紹介しました。

(ア) 発行時期 10月 1, 500部

###### (イ) 会議開催 「機関誌編集委員会」の開催

第1回 令和2年 8月24日

第2回 令和2年10月 9日

###### イ 福井県が主催する高齢者パネル展に参加

(ア) 日時 令和2年10月8日から15日 8:30～17:15

(イ) 場所 福井県県立図書館

###### ウ 市や町広報誌等に掲載

(ア) 7市1町の行政機関広報誌に延28回掲載

(イ) その他、地元広報誌に5回掲載

###### エ マスメディアによる広報活動の実施

(ア) 福井新聞 15回掲載（半5段5回、ぷりん10回）

(イ) 日刊県民福井 9回掲載（半5段5回、TV面特枠4回）

(ウ) 福井新聞「fu」に1回掲載

(エ) 敦賀市TV広報誌1回掲載

(オ) テレビCM

レギュラーCM (動画ナレーション 15秒) を2種類 (「人生の花も咲かせよう」「イキイキ働く女性はステキ」編) 作成し、5月から2月までの10ヶ月間放映 (220回)

- ・福井テレビ→120回 (12回/月)
- ・福井放送 →100回 (10回/月)

(カ) ケーブルテレビCM

嶺南地域の1市4町を対象にケーブルテレビCM (MM ケーブル TV、チャンネル OTV) にて静止画帯広告を6月から2月までの9ヶ月間放映

- ・MMケーブルTV (美浜町、若狭町)  
6月から2月までの9ヶ月間静止画帯広告を約30秒程度5分に1回放映
- ・チャンネルOTV (小浜市、若狭町、おおい町、高浜町)  
6月から2月までの9ヶ月間、毎週木曜日に1日13回、約30秒程度で放映

(キ) バス広告

6月から2月までの9ヶ月間、車両に看板やラッピング広告を実施

- ・福鉄バス→側面看板設置 (28台)
- ・京福バス→側面又は後部にラッピング (4台)

(ク) 電車広告

1月から3月までの3ヶ月間、車両の両面にラッピング広告を実施

- ・福鉄電車→車両の両面にラッピング広告 (1両)
- ・えちぜん鉄道→車両の両面にラッピング広告 (2両)

オ インターネットを活用したPR活動の推進

年間を通じて、連合ホームページの内容変更や事業概要等を更新するとともに、ホワイトカラーでの就業をイメージしたシルバー人材センターPR動画 (就業開拓編) を15秒編と30秒編の2種類を作成し、連合ホームページへの掲載及びYouTubeでの動画配信によりPR活動に努めています。

また、これら新たに作成したPR動画をYahooにおいても広告として掲載するなどPR活動に努めています。

カ 普及啓発用品の作成・配付

- (ア) 新型コロナ感染防止周知用ポスター (A2版) 50枚
- (イ) マスクケース 2,000枚
- (ウ) 会員募集用チラシ 185,700枚

(2) 高齢化する会員等に対する社会参加活動等の推進

- ① 高齢化する会員に対する熱中症対策等の安全対策の推進
- ② 安全対策に配慮した就業機会の確保
- ③ 会員の希望に応じたボランティア活動等の社会参加活動の推進

(3) 入会促進対策の推進

- ① 入会に向けた取組みの強化と積極的な推進
  - ア 会員募集強化月間（10月、3月）の設定
  - イ 「会員一人が一人の仲間を増やす」運動の推進
  - ウ 「高齢者活躍人材確保育成事業」と「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」との連携による高齢者入会促進
  - エ 「高齢者活躍人材確保育成事業」との連携による入会促進
  - オ 新総合事業等を活用した女性会員の加入促進
  - カ 入会促進用 PR 動画の作成(再掲)や新聞記事の投稿
  - キ 「生涯現役促進地域連携事業」と連携
- ② 女性会員の入会促進
  - 女性を対象とした入会説明会等の開催
  - 第1回 令和2年 9月15日
  - 第2回 令和2年11月16日
- ③ 退会防止に向けた取組みの強化と積極的な推進
  - ア 退会会員の理由の分析
  - イ 就業機会の確保
  - ウ ボランティア活動等社会参加活動の充実

2 事業の拡大対策

(1) 多様な働き方の推進

シルバー派遣事業及び職業紹介事業に限定した高齢法第39条に基づく業務拡大の有効活用に努めています。(10業種8職種)

(2) シルバー派遣事業の実施

- ① 会員数 1, 629人 (17.5%)
- ② 受注件数 515件 (3.6%) (第39条→87件)

- ③ 就業延人員 96,371人(11.9%) (第39条→20,592人)
- ④ 契約金額 4億8,481万円(16.6%) (第39条→12,638万円)
- ⑤ 派遣労働会員に対する教育訓練の開催(1年以上雇用見込み者対象)
  - 第1回 令和2年10月13日(福坂会場) 参加者 59人
  - 第2回 令和2年10月19日(奥越会場) 参加者 75人
  - 第3回 令和2年10月21日(丹南会場) 参加者 18人
  - 第4回 令和2年10月23日(嶺南会場) 参加者 31人
- ⑥ 派遣業務に係る自動車運転従事者を対象に適齢診断を実施(86名)
- ⑦ 「衛生委員会」の開催

毎月開催を原則に産業医の助言を得て開催し、内容については各種会議等を通じて情報提供するなど会員の健康障害防止や健康維持の増進に努めています。

- |         |          |                                     |
|---------|----------|-------------------------------------|
| 第1回委員会  | 5月27日開催  | テーマー「新型コロナウイルス感染症対策」「職場における熱中症予防対策」 |
| 第2回委員会  | 6月24日開催  | テーマー「梅雨の時期の過ごし方」                    |
| 第3回委員会  | 7月22日開催  | テーマー「認知症」                           |
| 第4回委員会  | 8月26日開催  | テーマー「健康情報の常識・非常識チェック」               |
| 第5回委員会  | 9月23日開催  | テーマー「新型コロナウイルス感染症」                  |
| 第6回委員会  | 10月28日開催 | テーマー「エイジフレンドリーガイドライン」               |
| 第7回委員会  | 11月25日開催 | テーマー「職場における新型コロナ対策の徹底」              |
| 第8回委員会  | 12月23日開催 | テーマー「冬期間における事故防止」                   |
| 第9回委員会  | 1月27日開催  | テーマー「新型コロナウイルスワクチンの接種」              |
| 第10回委員会 | 2月24日開催  | テーマー「高年齢になっても働ける秘訣」                 |
| 第11回委員会 | 3月24日開催  | テーマー「定年延長時代の健康管理」                   |

- ⑧ シルバー派遣会員用パンフレット(改訂版)の作成配付(10月)  
派遣事業のご案内(会員主用) 1,600部

### (3) 職業紹介事業

- ① 有料職業紹介件数 2事業所  
4名紹介

(4) ホワイトカラー系職種の就業機会の拡大

- ① 会員の就業ニーズの詳細な把握に努めるとともにマッチングの強化推進
- ② 行政機関への広報依頼や新聞等マスコミを活用した広報の展開

(5) 就業開拓事業の推進

- ① 会員による「1人1仕事開拓活動」を推進支援
- ② 緩和業種・職種の有効活用
- ③ 過去の発注先への訪問支援
- ④ 「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」と連携した就業機会の拡大支援
- ⑤ 「高齢者活躍人材確保育成事業」と連携した就業機会の拡大支援
- ⑥ 女性会員が魅力を感じる職域拡大支援
- ⑦ 新総合事業の受託支援
- ⑧ 放課後児童クラブ事業の受託支援
- ⑨ 空き家管理対策事業の受託支援
- ⑩ 高齢者の就業機会の創出に取り組む企業等との連携による就業機会の拡大支援
- ⑪ ハローワーク等行政機関や事業主団体等との情報交換による就業機会の拡大

(6) 需給調整事業の推進

① 福井県就業実態調査	18,037,000円
② 大和リビング物件清掃作業	1,103,712円
③ 観光動態調査	1,268,210円
④ えちぜん鉄道駅舎清掃	900,980円
合計	21,309,902円

(7) 福井県知事に対する要望

福井県知事に対する要望書の手交 令和2年11月12日

### 3 安全・適正就業の推進

(1) 安全就業の徹底

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策、熱中症予防対策、インフルエンザ予防接種、ツキノワグマ出没対策、交通事故防止対策等に係る情報提供



- ① 傷害事故発生状況 事故件数 55 件 (前年同月 16 件増加)
- ② 賠償事故発生状況 事故件数 24 件 (前年同月 10 件減少)
- ③ 安全目標の設定  
目標⇒死亡事故 0 件、入院事故 7 件以下、通院事故 20 件以下  
実績⇒死亡事故 2 件、入院事故 10 件、通院事故 43 件
- ④ 安全・適正就業指針の徹底  
「適正就業ガイドライン」に沿った事業展開への助言・指導・支援  
ア 「受注リスト」による再検証の実施  
イ 「同一労働同一賃金」施行に伴う周知用リーフレット等の活用による周知の徹底
- ⑤ 安全・適正就業スローガンの活用  
全 国 ⇒「いつまでも、働く喜び、無事故から」  
福井県 ⇒「これでよし! 何度も確認 安全就業」
- ⑥ 安全・適正就業推進強化月間 (7 月) の取組み  
ア 安全・適正就業促進大会の開催 (コロナ禍の中、人員制限して開催)  
(ア) 日 時 令和 2 年 7 月 31 日  
(イ) 場 所 福井県織協ビル  
(ウ) 参加者 57 名  
イ 安全・適正就業パトロールの実施  
全 SC を対象に、連合安全・適正就業委員会委員による安全・適正就業パトロールを実施 (7/6~8/7→38ヶ所実施)  
(ア) 15 回実施 延 31 人 (委員等)  
(イ) 作業現場 38 カ所実施 (124 人対象)
- ⑦ 安全・適正実務担当者会議の開催  
ア ブロック別会議  
【福井・坂井地区】 令和 2 年 6 月 16 日  
【奥越地区】 令和 2 年 6 月 18 日  
【丹南地区】 令和 2 年 6 月 22 日  
【嶺南地区】 令和 2 年 6 月 23 日  
イ 全体会議 令和 2 年 12 月 18 日
- ⑧ 交通事故防止対策に向けた取組み  
ア 反射板着用の励行→夜光用リストバンドを 1 千個配付  
イ 「安全・適正就業促進大会」において、福井県警察本部による交通事故防止対策の講演を行い意識の高揚を図る。(令和 2 年 7 月 31 日)

ウ 「高齢者活躍人材確保育成事業」と連携した講習会の開催

エ 「派遣業務に係る自動車運転に関する方針」に基づき、2月9日から3月26日に（独法）自動車事故対策機構福井支所で適齢診断を実施（86名）

⑨ チェックシート等を活用した転倒事故防止対策・熱中症予防対策・賠償事故防止対策の推進（会員個々の意識の高揚）

ア 転倒事故防止チェックシート（6月） 10,000部

イ 熱中症予防チェックシート（6月） 10,000部

ウ 賠償事故防止チェックシート（6月） 3,000部

⑩ 事故要因分析と再発防止対策のフォローアップ及び事故発生状況及び原因等を1ヶ月毎に資料取りまとめ各センターに情報提供

⑪ 健康診断受診の奨励及びインフルエンザ予防接種依頼（9月）

⑫ 新型コロナウイルス感染症への対応等に係る迅速な情報提供

## （2）適正就業の徹底

「適正就業ガイドライン」に沿った事業展開への助言・指導・支援

① 「受注リスト（請負・委任契約）」による再検証の実施

② 「同一労働同一賃金」施行に伴う周知用リーフレット等の活用による周知の徹底

③ 安全・適正就業委員会の開催

第1回 令和2年7月 2日

第2回 令和2年9月28日

第3回 令和3年2月 8日

## （3）安全・適正就業講習会の支援

新型コロナウイルス感染症拡大防止の中で、各シルバー人材センターが開催する会議や「安全・適正就業講習会」等に連合より講師派遣

### 【会議】

勝山市 令和2年 6月18日

坂井市 令和2年 6月25日

越前町 令和2年 6月22日 令和2年 7月30日

令和2年10月27日

若狭町 令和2年 6月23日

### 【安全・適正就業講習会】

若狭 令和3年 3月17日

大野市 令和2年 7月10日

あわら市	令和2年11月26日	令和3年	1月26日	
	令和3年	1月28日	令和3年	2月15日
	令和3年	2月16日	令和3年	2月18日
	令和3年	2月19日	令和3年	3月22日
坂井市	令和2年	8月19日		
永平寺町	令和3年	3月4日		
美浜町	令和2年	6月19日	令和2年	6月30日
若狭町	令和2年11月19日			
高浜町	令和3年	3月23日	令和3年	3月24日

#### 4 交流研修事業の推進

##### (1) トップセミナーの開催

コロナ禍の中で人数制限して開催

- ① 日 時 令和2年12月3日
- ② 場 所 織協ビル 8F 大ホール
- ③ 講 師 貴志医院長（認知症の理解とその対応）
- ④ 参加者 68名

##### (2) 職員研修の開催

###### ① 経験交流会

- ア 日 時 令和3年2月22日
- イ 場 所 織協ビル 8F 大ホール
- ウ 講 師 大野市シルバー人材センター 山田 歩弓  
「おおのを楽しむ独自事業 ～女性の活躍が社会を変える～」  
坂井市シルバー人材センター 竹内 聡宏  
「コロナ禍における就業開拓について」
- エ 参加者 28名

###### ② 会計・経理担当者研修会の開催（オンラインによる研修会の開催）

- ア 日 時 令和3年1月25日
- イ 講 師 衣目公認会計士事務所 氏原 謙一氏
- ウ 参加者 32名

###### ③ 労働者派遣業務担当者研修会の開催

- ア 日 時 令和2年8月25日
- イ 場 所 織協ビル 5F・8F

ウ 参加者 31名

## 5 未設置地域対策

池田町に対し、情報提供等を行っているものの、現在のところ設置する希望はなし

## 6 組織の強化対策

### (1) 行政・全シ協関係機関との連携

- ① 国・県との連携
- ② 全シ協との連携
- ③ 北シ協との連携
- ④ 生涯現役促進地域連携協議会との連携
- ⑤ 福井県すこやか長寿センターとの連携

### (2) 指導・相談体制の確立

- ① ワンストップサービスセンターの構築に向けた相談体制の強化
- ② シルバー人材センター定期指導（5センターで実施）

若狭町シルバー人材センター	令和2年10月26日
高浜町シルバー人材センター	令和2年10月26日
坂井市シルバー人材センター	令和2年11月11日
福井市シルバー人材センター	令和2年11月11日
越前町シルバー人材センター	令和2年12月9日
- ③ 福井県公益法人立入検査への立会（5センター）  
（敦賀市、鯖江市、勝山市、南越前町、永平寺町）
- ④ 福井労働局経理指導への立会（5センター）  
（福井市、坂井市、越前町、若狭町、高浜町）
- ⑤ 福井労働局経理指導検査 令和2年12月9日
- ⑥ 全シ協特別指導検査 令和3年2月2日  
（労働者派遣・有料職業紹介事業に係る特別指導）

### (3) 社会参加活動の推進

福縁ボランティア制度を活用したボランティア活動の実施  
ボランティア延べ人員 656人

(4) 情報管理体制の強化

連合HPのリニューアルによる情報公開の推進

(5) 調査研究事業

- ① 業務年報の作成（300部）10月発刊
- ② 公共事業受注調査 9月実施
- ③ 新型コロナウイルス感染症に係る事業への影響調査（3回→4月、5月、6月）
- ④ 受注事業所調査（請負・委任） 10月実施（238件）

7 健全な財政基盤を確立

(1) シルバー事業運営検討委員会の開催

- 第1回 令和2年7月13日
- 第2回 令和3年2月 5日

(2) 自主財源の確保

- ① シルバー派遣事業、職業紹介事業、広域需給調整事業の実施
- ② 独自事業の開拓支援
- ③ 賛助会員加入促進(賛助会員26社)
- ④ 市・町の行政機関等について検討

8 各種会議等の開催

(1) 通常総会の開催

新型コロナウイルス感染症防止のため、「3密」回避措置を講じて開催する。

- ① 開催日 令和2年6月29日
- ② 場 所 織協ビル 大ホール

(2) 理事会の開催

- 第1回 令和2年 6月15日                      第2回 令和2年10月16日
- 第3回 令和3年 2月12日                      第4回 令和3年 3月26日

(3) 理事長会議の開催

- 第1回 令和2年10月16日                      第2回 令和3年 2月12日

(4) 事務局長会議の開催

第1回	令和2年	6月12日	第2回	令和2年	10月6日
第3回	令和3年	1月29日	第4回	令和3年	3月19日

(5) シルバー事業運営検討委員会(再掲)

第1回	令和2年	7月13日	第2回	令和3年	2月5日
-----	------	-------	-----	------	------

(6) 安全・適正就業委員会(再掲)

第1回	令和2年	7月2日	第2回	令和2年	9月28日
第3回	令和3年	2月8日			

(7) 衛生委員会の開催(再掲)

第1回	令和2年	5月27日	第2回	令和2年	6月24日
第3回	令和2年	7月22日	第4回	令和2年	8月26日
第5回	令和2年	9月23日	第6回	令和2年	10月28日
第7回	令和2年	11月25日	第8回	令和2年	12月23日
第9回	令和3年	1月28日	第10回	令和3年	2月24日
第11回	令和3年	3月24日			

(8) 機関誌編集委員会(再掲)

第1回	令和2年	8月24日	第2回	令和2年	10月9日
-----	------	-------	-----	------	-------

(9) シルバーフェスタ実行委員会(再掲)

第1回	令和2年	7月15日	第2回	令和2年	12月22日
-----	------	-------	-----	------	--------

### Ⅲ 高齢者活躍人材確保育成事業

高齢者の中には、働くことに意欲的な者がいる一方で、経済的理由から働く必要がない、引退しても好きなことを楽しみたい等といった理由から、必ずしも働くことに意欲的でない者や企業・官公庁を退職後に何をすべきか悩む者も多くみられる。

また、地域の企業の中には、未だ高齢者の活用に積極的でない又は関心はあるもののどのようように高齢者の能力を活用すべきか手探りの状況の企業も多く見受けられることから、高齢者や企業・官公庁退職予定者及び企業・官公庁に対して、シルバー人材センターを積極的に周知・広報するとともに、就業体験や技能講習受講を通じて高齢者・企業双方のシルバー人材センターに対する理解を深めること及び高齢者がシルバー人材センターに興味を持ち自信を持って就業できるよう必要な技能講習を行うことにより、シルバー人材センターの新規会員の拡大や新たにシルバー人材センターを活用する企業等の増加に努めた。

更に、現にシルバー人材センター会員であるが、新たな分野で活躍を希望している会員や実際の就業に今一步踏み出せない会員に対して、就業体験及び技能講習を実施することにより人手不足分野等での担い手不足の解消を図り、高齢者の就業機会の拡大や企業等における高齢者活用促進に係る支援を行った。

また、連合を中心として労使団体・行政機関が一体となった連絡会議を開催し、地域におけるシルバー人材センターの更なる活用促進に係る連携強化に努めた。

#### 1 事業目標の設定

新規入会会員数 70名

#### 2 事業の実績

新規入会会員数 151名（達成率→215.7%）

#### 3 高齢者及び企業等に対する積極的な周知・広報

##### (1) マスメディアを通じた広報活動の実施（再掲）

- ① 福井新聞 9回掲載（半5段4回、ぷりん5回）
- ② 日刊県民福井 5回掲載（半5段5回）
- ③ テレビCM

レギュラーCM（動画ナレーション 15秒）を2種類（「人生の花も咲かせよう」「イキイキ働く女性はステキ」編）作成し、5月から2月までの10ヶ月

間放映（220回）

ア 福井テレビ→120回（12回／月）

イ 福井放送 →100回（10回／月）

④ ケーブルテレビCM

嶺南地域の1市4町を対象にケーブルテレビCM（MMケーブルTV、チャンネルOTV）にて静止画帯広告を6月から2月までの9ヶ月間放映

ア MMケーブルTV（美浜町、若狭町）

6月から2月までの9ヶ月間静止画帯広告を30秒程度5分に1回放映

イ チャンネルOTV（小浜市、若狭町、おおい町、高浜町）

6月から2月までの9ヶ月間、毎週木曜日に1日13回、約30秒程度で放映

（2）バス広告

6月から2月までの9ヶ月間、車両に看板やラッピング広告を実施

① 福鉄バス→側面看板設置（28台）

② 京福バス→側面又は後部にラッピング（4台）

（3）市や町広報誌等に掲載による広報活動の実施

① 7市1町の行政機関広報誌に延28回掲載

② その他、地元広報誌に7回掲載

（4）会員募集案内周知用チラシ作成・配付による広報活動の実施

7市6町において会員募集案内全戸配付→185,700枚

（5）企業等用周知用チラシ作成・配付による広報活動の実施

高齢者活用に関心がある企業や労使団体・行政機関等に配付→2,500枚

（6）就業体験・技能講習受講者等を対象に入会案内の実施（1月）

就業体験参加者、技能講習受講者、女性限定入会説明会参加者のうち12月末現在で未入会となっている者（64名）を対象に、シルバー人材センターへの入会勸奨を実施

4 各種説明会の開催

（1）事業所等説明会の開催



高齢者やセンター会員を対象に、高齢者の能力活用を検討している事業所説明会を6回開催(参加高齢者→71名(非会員21名、会員50名)、参加事業所→6社)

(2) 女性限定入会説明会の1回開催→参加者4名(3名入会)

(3) シルバー人材センター事業説明会の開催

- ① 事業団体との連携による開催→1回(参加企業→20社)
- ② シルバーマッチング商談会の開催

県内を5地区に分け、シルバー人材センターと高齢者の雇用を検討している企業との商談会を5回開催(参加企業→43社)

開催日	対象地区	参加企業数
2月17日	嶺南地区	12
2月18日	大野・勝山地区	4
2月24日	あわら・坂井地区	9
2月25日	丹南地区	6
2月26日	福井・永平寺地区	12
合	計	43

## 5 高齢者活躍人材確保育成事業推進会議の開催

- (1) 開催日 令和2年7月20日(月) 15時~
- (2) 場所 ユニオンプラザ福井(301号室)
- (3) 出席者 福井労働局、福井県、日本労働組合総連合会福井県連合会、福井商工会議所、中小企業総合支援センター、福井県生涯現役促進地域連携協議会
- (3) 議題
  - ① 連絡会設置要綱について
  - ② 事業の概要について
  - ③ 意見交換

## 6 就業体験の実施

シルバー人材センターでの就業に関心のある高齢者を対象に、県下6市・3町で85名の参加を得て19コースで47回就業体験を開催する。

	就業体験名	実施回数	参加者数
①	施設管理就業体験	9	10

②	清掃就業体験	7	7
③	製袋作業就業体験	1	1
④	学童保育就業体験	1	1
⑤	事務補助就業体験	2	2
⑥	ミシン就業体験	1	3
⑦	ブドウ栽培就業体験	1	3
⑧	ブルーベリー収穫就業体験	2	2
⑨	封筒作り就業体験	1	4
⑩	フラワーサポーター就業体験	1	5
⑪	旅館業就業体験	1	8
⑫	販売業務就業体験	1	2
⑬	しめ縄づくり就業体験	1	1
⑭	草刈り就業体験	1	2
⑮	接客お運び就業体験	7	7
⑯	エコバック作り就業体験	1	2
⑰	花苗就業体験	1	1
⑱	水引細工就業体験	4	5
⑲	そば打ち就業体験	4	19
	合 計	47回	85名

## 7 技能講習の実施

シルバー人材センターでの就業を希望している高齢者を対象に、シルバー人材センターの会員となり新たな分野で活躍することに興味、自信を持つことができるよう、県下8市・1町で138名の参加を得て11業種で19回技能講習を開催する。

	技能講習名	実施回数	参加者数
①	剪定技能講習	4	29
②	雪つり技能講習	1	8
③	草刈り技能講習	3	23
④	子育て支援技能講習	1	5
⑤	筆耕技能講習	3	29
⑥	しいたけ栽培技能講習	1	3
⑦	襖・障子貼り技能講習	1	11
⑧	観光案内技能講習	1	4
⑨	家事支援技能講習	1	7

⑩	ハウスクリーニング技能講習	2	10
⑪	接客・接遇技能講習	1	9
	合 計	19回	138名

# 収支計算書

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
広域受給調整事業受託収益	3,273,000	3,272,902	98
広域需給調整事業受託収益	3,273,000	3,272,902	98
労働者派遣事業収益	484,800,000	484,810,020	△10,020
労働者派遣事業収益	484,800,000	484,810,020	△10,020
有料職業紹介事業収益	30,000	37,758	△7,758
有料職業紹介事業収益	30,000	37,758	△7,758
福井県就業実態調査事業受託収益	18,037,000	18,037,000	0
福井県就業実態調査事業受託収益	18,037,000	18,037,000	0
高齢者活躍人材育成事業受託収益	34,681,000	34,681,308	△308
高齢者活躍人材育成事業受託収益	34,681,000	34,681,308	△308
受取会費	3,288,000	3,289,700	△1,700
正会員受取会費	2,888,000	2,889,700	△1,700
賛助会員受取会費	400,000	400,000	0
受取補助金等	18,202,000	18,202,000	0
受取国庫補助金	8,900,000	8,900,000	0
受取県補助金	8,900,000	8,900,000	0
受取全シ協支援事業費	402,000	402,000	0
受取寄附金	0	0	0
受取寄附金	0	0	0
雑収益	0	617,136	△617,136
受取利息	0	254	△254
雑収益	0	616,882	△616,882
経常収益計	562,311,000	562,947,824	△636,824
(2) 経常費用			
事業費	558,155,000	554,678,080	3,476,920
支払会員賃金	380,750,000	380,733,152	16,848
支払会員交通費	0	0	0
支払会員法定福利費	1,910,000	1,730,794	179,206
給料手当	28,112,000	28,098,004	13,996
臨時雇賃金	0	0	0
法定福利費	4,268,000	4,144,599	123,401
退職給付費用	1,080,000	1,039,960	40,040
福利厚生費	89,000	88,195	805
会議費	118,000	36,974	81,026
役員等旅費交通費	50,000	8,120	41,880
旅費交通費	228,000	216,700	11,300
通信運搬費	2,993,000	2,917,867	75,133
減価償却費	40,000	38,332	1,668
什器備品費	270,000	251,300	18,700

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差異
消耗品費	2,923,000	2,855,559	67,441
修繕費	0	0	0
印刷製本費	3,940,000	3,892,614	47,386
光熱水料費	176,000	144,322	31,678
賃借料	5,976,000	5,819,010	156,990
保険料	430,000	428,170	1,830
諸謝金	1,968,000	1,962,535	5,465
租税公課	41,039,000	40,774,159	264,841
支払負担金	0	0	0
委託費	8,450,000	8,448,365	1,635
活動拠点委託費	53,836,000	53,761,317	74,683
研修費	10,000	7,700	2,300
教材費	122,000	121,827	173
訓練委託費	570,000	563,500	6,500
支払手数料	440,000	404,800	35,200
損害賠償費	0	0	0
支払利息	0	0	0
広報費	18,317,000	16,172,005	2,144,995
役員報酬	50,000	18,200	31,800
管理費	1,914,000	1,631,473	282,527
役員報酬	130,000	88,400	41,600
給料手当	200,000	176,039	23,961
法定福利費	29,000	27,601	1,399
退職給付費用	3,000	2,268	732
福利厚生費	2,000	425	1,575
会議費	53,000	50,103	2,897
役員等旅費交通費	164,000	64,200	99,800
旅費交通費	33,000	0	33,000
通信運搬費	68,000	60,044	7,956
什器備品費	0	0	0
消耗品費	159,000	150,548	8,452
印刷製本費	10,000	7,397	2,603
光熱水料費	15,000	13,838	1,162
賃借料	300,000	284,663	15,337
保険料	55,000	54,300	700
租税公課	10,000	9,900	100
支払負担金	270,000	258,000	12,000
委託費	330,000	317,897	12,103
支払手数料	33,000	25,850	7,150
雑費	50,000	40,000	10,000
経常費用計	560,069,000	556,309,553	3,759,447
評価損益等調整前当期経常増減額	2,242,000	6,638,271	△4,396,271

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異
	基本財産評価損益等	0	0	0
	特定資産評価損益等	0	0	0
	投資有価証券評価損益等	0	0	0
	評価損益等計	0	0	0
	当期経常増減額	2,242,000	6,638,271	△4,396,271
2. 経常外増減の部				
	(1) 経常外収益			
	経常外収益計	0	0	0
	(2) 経常外費用			
	経常外費用計	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	2,242,000	6,638,271	△4,396,271
	一般正味財産期首残高	28,358,021	28,358,021	0
	一般正味財産期末残高	30,600,021	34,996,292	△4,396,271
II 指定正味財産増減の部				
	(1) 収益			
	収益計	0	0	0
	(2) 費用			
	費用計	0	0	0
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	0	0	0
	指定正味財産期末残高	0	0	0
	III 正味財産期末残高	30,600,021	34,996,292	△4,396,271

**収 支 計 算 書 (注記)**  
令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差異
<b>【投資活動収支の部】</b>			
<投資活動収入>			
特定資産取崩収入	10,000,000	10,000,000	0
シルバ-育成資金積立資産取崩収入	10,000,000	10,000,000	0
投資活動収入計	10,000,000	10,000,000	0
<投資活動支出>			
固定資産取得支出	242,000	242,000	0
什器備品購入支出	242,000	242,000	0
特定資産取得支出	12,000,000	12,000,000	0
シルバ-事業育成資金積立資産取得支	12,000,000	12,000,000	0
事務所移転費用積立資産取得支出	0	0	0
投資活動支出計	12,242,000	12,242,000	0
投資活動収支差額	△2,242,000	△2,242,000	0
<b>【財務活動収支の部】</b>			
<財務活動収入>			
財務活動収入計	0	0	0
<財務活動支出>			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	△2,242,000	△2,242,000	0

# 収 支 計 算 書 (注記)

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

(単位：円)

	科 目	予算額	決算額	差異
	補助金等収入	210,258,000	210,258,000	0
	国庫補助金収入	210,258,000	210,258,000	0
	交付金支出	210,258,000	210,258,000	0
	高年齢者就業機会確保事業費支出	93,246,000	93,246,000	0
	高齢者活用・雇用サポート事業費支出	117,012,000	117,012,000	0
	地域就業機会創出・拡大事業支出	0	0	0



# 貸借対照表

令和 3年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
普通預金	45,271,539	37,219,193	8,052,346
未収金	54,943,552	48,397,694	6,545,858
立替金	35,441	56,189	△20,748
前払金	118,860	99,660	19,200
流動資産合計	100,369,392	85,772,736	14,596,656
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
シバ-事業育成資金積立資産	12,000,000	10,000,000	2,000,000
事務所移転費用積立資産	4,000,000	4,000,000	0
特定資産合計	16,000,000	14,000,000	2,000,000
(3) その他固定資産			
什器備品	281,254	77,586	203,668
什器備品減価償却累計額	0	0	0
*	281,254	77,586	203,668
その他固定資産合計	281,254	77,586	203,668
固定資産合計	16,281,254	14,077,586	2,203,668
資産合計	116,650,646	99,850,322	16,800,324
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	81,022,865	71,201,940	9,820,925
預り金	631,489	290,361	341,128
流動負債合計	81,654,354	71,492,301	10,162,053
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	81,654,354	71,492,301	10,162,053
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 16,000,000 )	( 14,000,000 )	( 2,000,000 )



# 正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
広域受給調整事業受託収益	3,272,902	3,836,529	△563,627
広域需給調整事業受託収益	3,272,902	3,836,529	△563,627
労働者派遣事業収益	484,810,020	415,884,944	68,925,076
労働者派遣事業収益	484,810,020	415,884,944	68,925,076
有料職業紹介事業収益	37,758	58,667	△20,909
有料職業紹介事業収益	37,758	58,667	△20,909
福井県就業実態調査事業受託収益	18,037,000	20,484,863	△2,447,863
福井県就業実態調査事業受託収益	18,037,000	20,484,863	△2,447,863
高齢者活躍人材育成事業受託収益	34,681,308	33,056,601	1,624,707
高齢者活躍人材育成事業受託収益	34,681,308	33,056,601	1,624,707
受取会費	3,289,700	3,273,700	16,000
正会員受取会費	2,889,700	2,893,700	△4,000
賛助会員受取会費	400,000	380,000	20,000
受取補助金等	18,202,000	18,218,000	△16,000
受取国庫補助金	8,900,000	8,900,000	0
受取県補助金	8,900,000	8,900,000	0
受取全シ協支援事業費	402,000	418,000	△16,000
受取寄附金	0	0	0
受取寄附金	0	0	0
雑収益	617,136	108,300	508,836
受取利息	254	231	23
雑収益	616,882	108,069	508,813
経常収益計	562,947,824	494,921,604	68,026,220
(2) 経常費用			
事業費	554,678,080	485,392,547	69,285,533
支払会員賃金	380,733,152	326,231,065	54,502,087
支払会員交通費	0	3,226,649	△3,226,649
支払会員法定福利費	1,730,794	1,001,151	729,643
給料手当	28,098,004	29,232,654	△1,134,650
臨時雇賃金	0	0	0
法定福利費	4,144,599	4,643,077	△498,478
退職給付費用	1,039,960	548,000	491,960
福利厚生費	88,195	104,955	△16,760
会議費	36,974	53,735	△16,761
役員等旅費交通費	8,120	44,300	△36,180
旅費交通費	216,700	816,021	△599,321
通信運搬費	2,917,867	2,056,705	861,162
減価償却費	38,332	38,333	△1
什器備品費	251,300	0	251,300

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
消耗品費	2,855,559	2,977,519	△121,960
修繕費	0	0	0
印刷製本費	3,892,614	4,145,185	△252,571
光熱水料費	144,322	161,683	△17,361
賃借料	5,819,010	5,254,887	564,123
保険料	428,170	373,290	54,880
諸謝金	1,962,535	2,891,785	△929,250
租税公課	40,774,159	32,836,182	7,937,977
支払負担金	0	44,000	△44,000
委託費	8,448,365	9,873,256	△1,424,891
活動拠点委託費	53,761,317	46,749,539	7,011,778
研修費	7,700	14,160	△6,460
教材費	121,827	340,120	△218,293
訓練委託費	563,500	56,000	507,500
支払手数料	404,800	430,114	△25,314
損害賠償費	0	147,175	△147,175
支払利息	0	206,917	△206,917
広報費	16,172,005	10,870,690	5,301,315
役員報酬	18,200	23,400	△5,200
管理費	1,631,473	1,858,269	△226,796
役員報酬	88,400	109,200	△20,800
給料手当	176,039	163,000	13,039
法定福利費	27,601	28,617	△1,016
退職給付費用	2,268	0	2,268
福利厚生費	425	425	0
会議費	50,103	90,766	△40,663
役員等旅費交通費	64,200	159,685	△95,485
旅費交通費	0	79,510	△79,510
通信運搬費	60,044	65,656	△5,612
什器備品費	0	0	0
消耗品費	150,548	149,357	1,191
印刷製本費	7,397	0	7,397
光熱水料費	13,838	14,207	△369
賃借料	284,663	284,124	539
保険料	54,300	51,300	3,000
租税公課	9,900	8,500	1,400
支払負担金	258,000	319,000	△61,000
委託費	317,897	250,294	67,603
支払手数料	25,850	32,428	△6,578
雑費	40,000	52,200	△12,200
経常費用計	556,309,553	487,250,816	69,058,737
評価損益等調整前当期経常増減額	6,638,271	7,670,788	△1,032,517

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	6,638,271	7,670,788	△1,032,517
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	6,638,271	7,670,788	△1,032,517
一般正味財産期首残高	28,358,021	20,687,233	7,670,788
一般正味財産期末残高	34,996,292	28,358,021	6,638,271
II 指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	34,996,292	28,358,021	6,638,271

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

- ・ 什器備品 定額法により原価償却を実施している。

#### (2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

#### (3) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外の以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸契約取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

### 2 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	472,914	191,660	281,254
合 計	472,914	191,660	281,254

### 3 特定資産の増減額及び残高

特定資産の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
シルバー事業育成資金積立資産	10,000,000	2,000,000	0	12,000,000
事務所移転費用積立資産	4,000,000		0	4,000,000
合 計	14,000,000	2,000,000	0	16,000,000

### 4 特定資産の財源の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正 味財産から の充当額)	(うち一般正 味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
シルバー事業育成資金積立資産	12,000,000	0	12,000,000	0
事務所移転費用積立資産	4,000,000	0	4,000,000	0
合 計	16,000,000	0	16,000,000	0

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
受取補助金等						
高齢者就業機会確保事業費等交付金	国	0	5,339,000	5,339,000	0	
雇用開発支援事業費等補助金	国	0	3,561,000	3,561,000	0	
シルバー就業支援事業補助金	県	0	8,900,000	8,900,000	0	—
全シ協支援事業費	全シ協	0	402,000	402,000	0	
		0	18,202,000	18,202,000	0	

### 付属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細  
財務諸表に対する注記、記載のとおり

2 引当金の明細  
該当なし

# 財産目録

令和3年3月31日

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的		金額		
		使用目的等	使用事業			
<b>(流動資産)</b>						
普通預金 45,271,539	普通預金 福井銀行本店	普通預金 福井銀行本店	運転資金	法人管理	5,817,868	
	普通預金 福井銀行本店	普通預金 福井銀行本店	運転資金	シルバー事業	4,287,769	
	普通預金 福井銀行本店	普通預金 福井銀行本店	運転資金	高齢者活躍人材 確保育成事業	9,756,645	
	普通預金 福井銀行本店	普通預金 福井銀行本店	運転資金	シルバー派遣事業	24,807,978	
	普通預金 福井銀行本店	普通預金 福井銀行本店	運転資金	公益目的事業 預り金	601,279	
	未収金 54,943,552	ジー・アイ・システム他	ジー・アイ・システム他	契約金額	シルバー事業 (広域事業)	1,001,836
		福井県板金工業組合	福井県板金工業組合	紹介手数料	シルバー事業 (職業紹介事業)	23,540
		平和堂他	平和堂他	契約金額	シルバー事業 (派遣事業)	49,246,093
		全福サービス	全福サービス	賠償責任保険料	高齢者活躍人材 確保育成事業	3,745
		福井県知事	福井県知事	契約金額	福井県就業実態 調査事業	43,698
		シルバー事業(派遣)	シルバー事業(派遣)	契約金額	法人会計	4,624,640
	立替金 35,441	福井労働局長	福井労働局長	労働保険料 (個人負担分)	シルバー事業	30,441
全福サービス		全福サービス	令和3年度役員賠償責任 保険料(個人負担分)	法人会計	5,000	
前払金 118,860	トヨタレンタリース福井	トヨタレンタリース福井	車両リース料(4月分)	シルバー事業	22,680	
		トヨタレンタリース福井	車両リース料(4月分)	シルバー事業 (派遣事業)	22,680	
	全福サービス	全福サービス	令和3年度役員賠償責任 保険料	法人会計	45,000	
	全福サービス	全福サービス	令和3年度個人情報漏えい 保険料	法人会計	28,500	
<b>流動資産合計</b>				<b>100,369,392</b>		
<b>(固定資産)</b>						
特定資産	シルバー事業育成資 金積立資産	普通預金 福井銀行本店	シルバー事業育成資金としての積立資産であり 資産取得資金として管理されている預金		12,000,000	
	事務所移転費用積 立資産	普通預金 福井銀行本店	事務所移転に係る費用の積立資産であり、 資産取得資金として管理されている預金		4,000,000	
その他 固定資産	什器備品 281,254	電話機	公益目的財産であり、シル バー事業に使用している。	シルバー事業	39,254	



		耐火金庫	法人会計財産であり、 法人会計に使用している。	法人会計	242,000
固定資産合計					16,281,254
資産合計					116,650,646
(流動資産)					
未払金 81,022,865	活動拠点委託費	シルバー事業(広域)に供する業務委託料等の未払金額			1,117,892
	活動拠点委託費	シルバー事業(職業紹介)に供する業務委託料等の未払金額			23,954
	支払会員賃金等	シルバー事業(派遣)に供する業務委託料等の未払金			66,782,713
	ホームページリニューアル等	シルバー事業に供する業務委託料等の未払金			646,151
	活動拠点委託費等	就業実態調査事業に供する業務委託料等の未払金			2,344,817
	業務委託料返還等	高齢者活躍人材確保育成事業に供する業務委託料等の未払金			9,676,157
	社会保険料等	法人管理に供する業務委託料等の未払金			431,181
預り金 631,489	職員源泉税他	職員等からの源泉税、社会保険料等		シルバー事業	630,849
	役員源泉税	役員からの源泉税		法人管理	640
流動負債合計					81,654,354
負債合計					81,654,354
正味財産					34,996,292